

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 アオイ電子  
 コード番号 6832 URL <http://www.aoi-electronics.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大西 通義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木下 和洋  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 087-882-1131

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	18,196	—	83	—	178	—	106	—
20年3月期第3四半期	21,772	△0.6	2,302	△25.7	2,452	△23.0	1,383	△19.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	8.88	—
20年3月期第3四半期	115.28	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第3四半期	34,503	—	26,592	—	77.1	2,216.05
20年3月期	35,670	—	26,778	—	75.1	2,231.58

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 26,592百万円 20年3月期 26,778百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	△25.2	△1,325	—	△1,230	—	△1,580	—	△131.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※ 平成21年3月期の連結業績予想(通期)の詳細な内容につきましては、2ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 12,000,000株 20年3月期 12,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 94株 20年3月期 60株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 11,999,917株 20年3月期第3四半期 11,999,940株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（9か月）のわが国経済は、米国の金融不安（サブプライムローン問題）を発端とする世界的な同時不況に、原油・原材料の高騰などが重なり、不安定な様相を呈しておりましたが、さらに、米国大手金融機関の破綻とともに景気は大きく後退いたしました。

当社グループの属する電子部品業界は、雇用・所得環境が厳しさを増すなか、主要消費国である米国、欧州、中国において消費が停滞し、販売価格の低下圧力は依然として強くありながら、販売不振により大幅な減産となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは高付加価値製品の開発を継続するとともに、合理化改善を強力に推し進めてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,196百万円（前年同期比3,576百万円減、16.4%減）、営業利益は83百万円（前年同期比2,219百万円減、96.4%減）、経常利益は178百万円（前年同期比2,274百万円減、92.7%減）、四半期純利益は106百万円（前年同期比1,276百万円減、92.3%減）となりました。

また、当社グループの事業部門ごとの業績であります。集積回路部門は、第3四半期における受注の急激な落ち込みにより、売上高は14,085百万円（前年同期比2,138百万円減、13.2%減）となりました。機能部品部門についても、第3四半期に入ってから落ち込みはあったものの受注が順調に推移したため売上高は2,984百万円（前年同期比93百万円増、3.2%増）となりました。受動部品部門は、チップ抵抗器の生産を終了したことと、第3四半期からの受注の落ち込みにより売上高は1,084百万円（前年同期比1,470百万円減、57.6%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の資産の部につきましては、一部の固定資産の売却や設備投資抑制による現預金の増加があったものの、11月からの急激な受注の落ち込みによる売掛債権の大幅な減少や、設備投資抑制に伴う有形固定資産の減少により、前連結会計年度末比1,166百万円の大幅な減少となりました。負債の部につきましては、生産量の減少に伴う設備投資の減少、製造経費の抑制による設備支払手形や未払金の減少、税引前利益減による税金引当の減少により、前連結会計年度末比980百万円の減少となりました。これらの結果、純資産は26,592百万円となり、前会計年度末比186百万円の減少となったものの、負債の割合が相対的に減少したため、結果として自己資本比率は77.1%と当第3四半期連結累計期間において2.0ポイント上昇いたしました。

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、当第3四半期連結累計期間末には7,137百万円となり前連結会計年度末より599百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は3,173百万円（前年同期の増加した資金は2,153百万円）となりました。主な資金増加の要因は、税金等調整前四半期純利益207百万円、有形固定資産の減価償却費2,559百万円、売上債権の減少額1,798百万円等であり、主な資金減少の要因は、法人税等の支払額1,107百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は2,672百万円（前年同期の減少した資金は3,039百万円）となりました。主な資金減少の要因は、有形固定資産の取得に伴う支出2,286百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は108百万円（前年同期の増加した資金は631百万円）となりました。主な資金増加の要因は、3,430百万円の短期借入を行いました。長短借入金返済3,080百万円ならびに配当金の支払239百万円を行ったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、平成20年8月5日に発表しました「平成21年3月期 第1四半期決算短信」の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。修正理由につきましては本日発表の「業績予想の修正、配当予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,760	2,025	2,141	1,213	101 08
今回修正予想（B）	21,100	△1,325	△1,230	△1,580	△131 67
増減額（B－A）	△6,660	△3,350	△3,371	△2,793	－
増減率（％）	△24.0	－	－	－	－
前期実績	28,201	2,601	2,742	1,491	124 31

（ご参考）

平成21年3月期通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,760	1,924	2,039	1,157	96 42
今回修正予想（B）	21,100	△1,295	△1,200	△1,550	△129 17
増減額（B－A）	△6,660	△3,219	△3,239	△2,707	－
増減率（％）	△24.0	－	－	－	－
前期実績	28,201	2,569	2,716	1,480	123 34

#### 4. その他

##### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ・会計処理基準等の改正に伴う変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ18百万円増加しております。

・会計処理の方法の変更

当社および国内連結子会社においては、従来より機械装置の稼働時間に合わせ「増加償却」を実施してきました。これは集積回路部門をはじめ、各部門において品種別・製品別に受注がばらつき、その結果、各機械装置毎に稼働時間が大きく変動するために、各装置の稼働時間を算出して、それをベースに増加償却を実施することが適当であると判断したことによるものであります。近年、機械装置の設計も工夫され「少量多品種生産」に対応させたフレキシブルな装置の導入が進んだこともあり、各装置毎の稼働時間に大きなバラツキがなくなってきました。全体的に機械装置の稼働時間が均一化しているという実態を踏まえてみると、当初考えられていた増加償却の必要性は薄れてきたものと考えられ、稼働の常態化からみても、むしろ増加償却を廃止し、過去の実績を反映した耐用年数の見直しを行うことが償却の均一化、安定的な期間配分という観点からも適当であると判断し、第1四半期連結会計期間より「増加償却」を行わない減価償却方法へ変更することといたしました。

(追加情報)

1. 平成20年度までの過去5年間の部門別の償却実態を精査し、機械装置をはじめとする主要な資産の耐用年数の見直しを行いました。その結果、見直しに伴い短縮された主要な資産の耐用年数は次のとおりであります。

建物付属設備 15年 → 12年

機械装置 5～9年 → 4～6年

器具備品 5～8年 → 4年

これにより、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は324百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ314百万円減少しております。

2. 当社および国内連結子会社については、平成20年3月末時点において償却可能限度額となっている有形固定資産については、第1四半期連結会計期間より上記見直し後の耐用年数にて除却となるまで引き続き償却をしております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は200百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ194百万円減少しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,137,686	6,537,983
受取手形及び売掛金	7,468,041	9,266,192
商品	68	—
製品	40,060	89,784
原材料	922,400	765,596
仕掛品	401,714	615,999
貯蔵品	135,638	25,613
前払費用	111,106	68,834
繰延税金資産	73,296	309,623
その他	649,362	143,183
流動資産合計	16,939,375	17,822,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,301,405	9,093,386
減価償却累計額	△4,299,630	△3,817,069
建物及び構築物（純額）	5,001,774	5,276,316
機械装置及び運搬具	22,770,740	21,845,239
減価償却累計額	△17,986,123	△17,168,503
機械装置及び運搬具（純額）	4,784,616	4,676,735
工具、器具及び備品	4,466,457	4,088,361
減価償却累計額	△3,764,729	△3,383,281
工具、器具及び備品（純額）	701,727	705,080
土地	2,926,463	2,926,463
リース資産	189,390	—
建設仮勘定	566,768	1,278,433
有形固定資産合計	14,170,741	14,863,030
無形固定資産		
のれん	86,877	93,921
リース資産	137	—
その他	183,658	165,090
無形固定資産合計	270,674	259,012
投資その他の資産		
投資有価証券	1,900,909	1,498,059
前払年金費用	793,389	843,438
繰延税金資産	43,817	—
その他	384,923	384,300
投資その他の資産合計	3,123,039	2,725,797
固定資産合計	17,564,455	17,847,840

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産合計	34,503,830	35,670,652
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,552,005	2,648,089
短期借入金	2,050,000	1,470,000
1年内返済予定の長期借入金	307,992	307,992
未払金	759,205	1,065,804
未払法人税等	48	506,081
賞与引当金	105,020	429,823
リース債務	79,698	—
その他	761,119	870,067
流動負債合計	6,615,089	7,297,858
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	338,362	569,356
繰延税金負債	0	176,517
役員退職慰労引当金	543,259	543,259
リース債務	109,829	—
その他	4,875	4,875
固定負債合計	1,296,326	1,594,008
負債合計	7,911,416	8,891,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	16,263,052	16,396,504
自己株式	△139	△96
株主資本合計	26,599,363	26,732,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,948	45,927
評価・換算差額等合計	△6,948	45,927
純資産合計	26,592,414	26,778,785
負債純資産合計	34,503,830	35,670,652

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	18,196,596
売上原価	16,163,893
売上総利益	2,032,702
販売費及び一般管理費	1,948,941
営業利益	83,760
営業外収益	
受取利息	7,166
受取配当金	7,240
作業屑売却益	112,954
その他	51,378
営業外収益合計	178,740
営業外費用	
支払利息	36,648
支払補償費	23,447
為替差損	9,695
その他	14,464
営業外費用合計	84,255
経常利益	178,245
特別利益	
固定資産売却益	74,125
特別損失	
固定資産除却損	7,853
投資有価証券評価損	36,871
特別損失合計	44,724
税金等調整前四半期純利益	207,646
法人税、住民税及び事業税	49,206
法人税等調整額	51,893
法人税等合計	101,100
四半期純利益	106,546

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	4,682,609
売上原価	4,709,039
売上総利益	△26,430
販売費及び一般管理費	669,208
営業利益	△695,638
営業外収益	
受取利息	2,227
受取配当金	2,617
作業屑売却益	30,998
その他	7,850
営業外収益合計	43,694
営業外費用	
支払利息	11,374
支払補償費	19,304
為替差損	38,699
その他	12,818
営業外費用合計	82,197
経常利益	△734,142
特別損失	
投資有価証券評価損	33,832
税金等調整前四半期純利益	△767,974
法人税、住民税及び事業税	△489,793
法人税等調整額	154,074
法人税等合計	△335,718
四半期純利益	△432,255



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	207,646
減価償却費	2,559,549
その他の償却額	37,988
のれん償却額	7,044
固定資産除却損	7,853
固定資産売却損益(△は益)	△74,125
賞与引当金の増減額(△は減少)	△324,803
受取利息及び受取配当金	△14,407
支払利息	36,648
為替差損益(△は益)	9,695
保険解約損益(△は益)	△4,998
投資有価証券評価損益(△は益)	36,871
売上債権の増減額(△は増加)	1,798,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,887
その他の資産の増減額(△は増加)	91,823
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,083
その他の負債の増減額(△は減少)	32,255
小計	4,308,221
利息及び配当金の受取額	8,379
利息の支払額	△36,163
法人税等の支払額	△1,107,228
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,173,209</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,286,601
無形固定資産の取得による支出	△60,186
有形固定資産の売却による収入	232,791
投資有価証券の取得による支出	△528,500
その他の支出	△30,280
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,672,776</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	3,430,000
短期借入金の返済による支出	△2,850,000
長期借入金の返済による支出	△230,994
自己株式の取得による支出	△42
配当金の支払額	△239,998
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>108,965</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,695
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>599,702</b>
現金及び現金同等物の期首残高	6,537,983

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高

7,137,686

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）において、全セグメントの売上高の合計、営業利益（損失）および全セグメントの資産の合計額に占める「電子部品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）において、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	金額（千円）	前年同期比（％）
集積回路	13,872,831	—
機能部品	2,484,621	—
受動部品	1,025,193	—
合計	17,382,645	—

- (注) 1. 金額は、販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
集積回路	13,735,770	—	103,223	—
機能部品	2,715,133	—	438,777	—
受動部品	1,071,983	—	42,546	—
その他	41,574	—	—	—
合計	17,564,461	—	584,548	—

- (注) 1. 金額は、販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	金額（千円）	構成比（％）	前年同期比（％）
集積回路	14,085,580	77.4	—
機能部品	2,984,941	16.4	—
受動部品	1,084,499	6.0	—
その他	41,574	0.2	—
合計	18,196,596	100.0	—

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	21,772
II 売上原価	17,618
売上総利益	4,154
III 販売費及び一般管理費	1,851
営業利益	2,302
IV 営業外収益	197
V 営業外費用	48
経常利益	2,452
VI 特別利益	—
VII 特別損失	42
税金等調整前四半期純利益	2,409
税金費用	1,026
四半期純利益	1,383

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間(当期)純利益	2,409
有形固定資産の減価償却額	2,017
その他の償却額(長期前払費用他)	40
のれん償却額	7
賞与引当金の増加額(△減少額)	△298
役員退職慰労引当金の減少額	△6
受取利息・配当金	△13
支払利息	37
為替差損	1
解体撤去費	31
役員保険解約に伴う差損(△差益)	△0
投資有価証券評価損	11
売上債権の増加額	△701
たな卸資産の増加額	△234
その他の資産の増加額	△47
仕入債務の増加額	257
その他の負債の増加額	191
小計	3,703
受取利息・配当金の受取額	12
利息の支払額	△38
建物解体撤去費	△31
法人税等の支払額	△1,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,153
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,343
無形固定資産等の支出	△60
事業者保険解約返戻金	0
投資有価証券の取得による支出	△599
その他の投資等による支出	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,039
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入による収入	3,832
短期借入金の返済による支出	△3,125
長期借入による収入	504
長期借入金の返済による支出	△339
配当金の支払額	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	631
<b>IV. 現金および現金同等物に係る換算差額</b>	△1
<b>V. 現金および現金同等物の増減額</b>	△255
<b>VI. 現金および現金同等物の期首残高</b>	6,491
<b>VII. 現金および現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	6,235

(3) 事業部門別売上高

事業部門	前四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
集積回路	16,223
機能部品	2,891
受動部品	2,555
その他	102
合計	21,772